

ドラム式洗濯乾燥機 家庭用

品番 AQW-SD12P-L



1. 付属品の確認	2
2. 本体の運搬	2
3. 製品寸法	3
4. 輸送金具の取りはずし	3
5. 据付場所の確認	4
6. 排水ホースの処理	6
7. 給水ホース	8
8. 水平の確認と調整	10
9. アース・電源	10
10. 別売部品	11
11. 試運転	11
12. チェックシート	12

据え付けをされる方へ

- 据え付けは、安全のため必ず2人以上で作業してください。
- 手、指のけがをしないように保護具を使用して作業してください。
- 本体の異常振動や製品移動などを防ぐため、この据付説明書の内容にそって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、「12. チェックシート」の項目に基づいて必ず確認を行ってください。
- この据付説明書は据え付け終了後、お客さまにお渡しください。
- この据付説明書どおりに設置・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。

設置説明動画



URL <https://aqua-has.com/cp/laundry/drumseries/setupmovie>

お客さまへ

- 引っ越しや排水口の点検などを行う場合に本機を移動する必要がありますのでこの据付説明書は、据え付け後も「取扱説明書」、余った部品などと一緒に大切に保管してください。
- 据え付けは販売店または専門業者にご依頼ください。

1. 付属品の確認

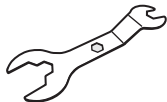
1 ドアを固定しているテープをはがし、ドアを開ける

2 付属品を取り出す

3 テープを元通りに貼り付ける
(運搬時にドアが開かないようにするためです。)

台座に収納されています

●スパナ (1個) →P10

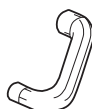


ドラムの中に入っています

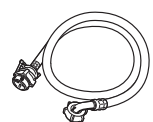
●キャップ (4個)
→P3



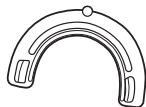
●排水ジョイントホース
(1本) →P4~6



●給水ホース (マジックつぎ手付き)
(1本・長さ約150cm) →P8・9



●ストッパー
(1個) →P6・7



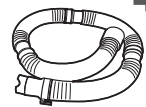
●ホース口
(1個) →P6・7



●ホースバンド
(1個) →P6・7

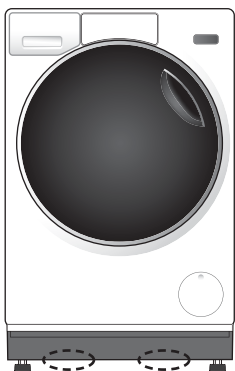


●排水ホース (ホース口付き)
(1本・長さ約100cm)
→P6・7



2. 本体の運搬

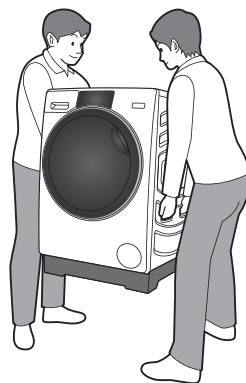
運搬するときは、必ず2人以上で運んでください。天板後部、本体前面下部と側面のとっ手を持って運んでください。ドアやドアパッキンなど、とっ手以外を持って本体を移動させないでください。脚部を軸に回転させないでください。脚ゴムが変形したり、床面を傷つけるおそれがあります。



↑
下にとっ手があります。



天板は中央部を持たずに
両端に近い箇所を持って
ください。



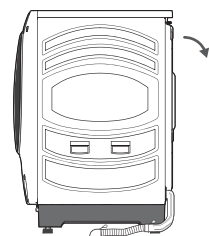
側面のとっ手を持って
ください。



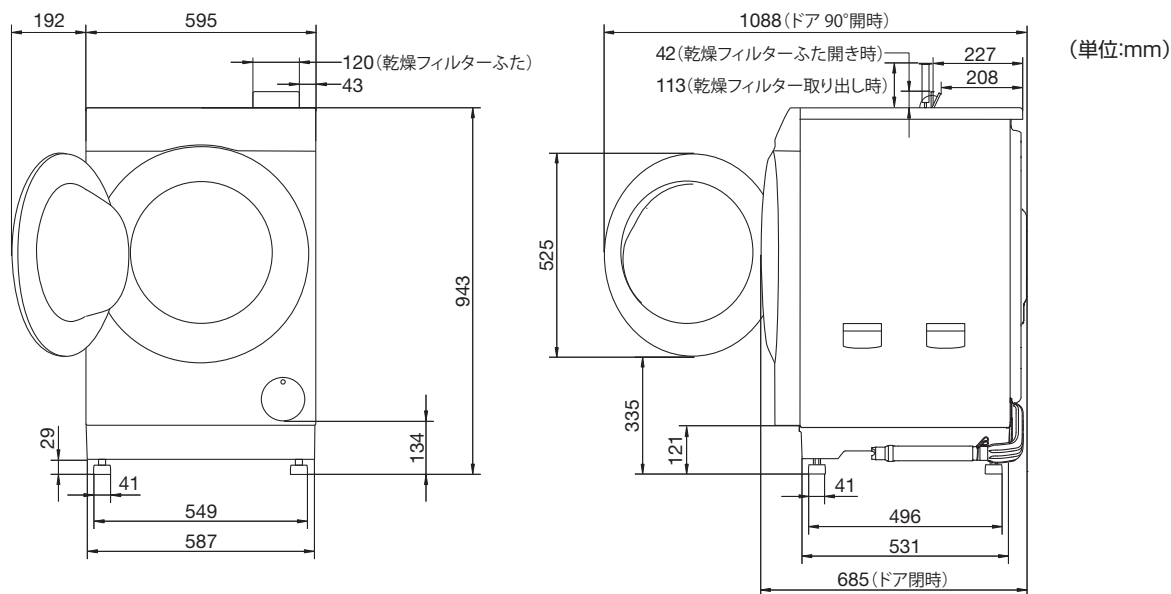
ご注意 ●ひざなどで押さないでください。

ご使用後、製品を移動する場合のご注意

本体を傾けると、排水ホースから水が出てくる場合があります。移動する前に排水ホースを排水口に差し込んだまま、本体を後方に傾けて水を抜いてください(約5秒間)。けがを防ぐために、作業は必ず2人以上で行ってください。



3. 製品寸法



4. 輸送金具の取りはずし

ドアパッキンがゆがんでいることがあります。故障ではありません。
輸送金具を取りはずすことで時間の経過とともに元に戻ります。

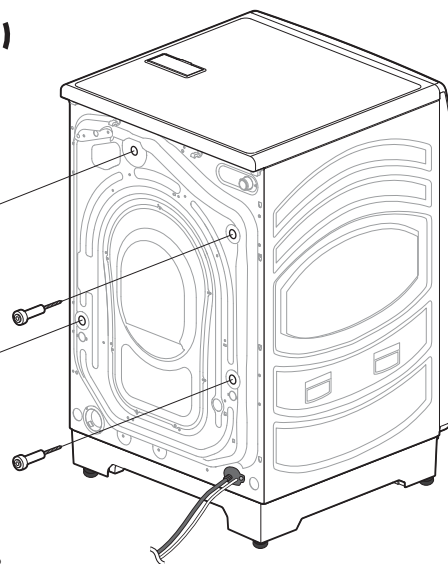
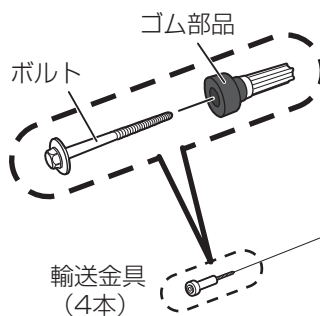
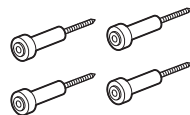


輸送時に内部機構を保護していた 4 本の輸送金具をはずしてください。
輸送金具がついたまま運転すると異常振動や故障の原因になります。

- 1 付属のスパナで輸送金具(背面)4本の
ボルトをゆるめ、後方に抜き取る
- 2 輸送金具のゴム部品を揺らしながら
後方に抜き取る

■付属のスパナ(1個) ■輸送金具(4本)

梱包の台座に
収納されています。



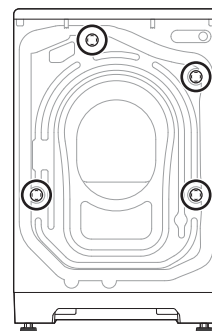
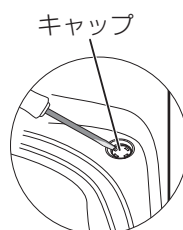
ご注意

- 輸送金具の白い部品ははずれやすいため、洗濯機内部へ落とさないように注意してください。
落ちた場合は後カバーをはずし、必ず取り除いてください。

- 3 輸送金具が取り付けいていた箇所に同梱のキャップ(4個)をツメがかかるまで確実にはめ込む(右図の4箇所)

お願い

はずした輸送金具、付属のスパナは転居などの本体輸送の際に必要です。必ず保管してください。
本体を輸送の際は、マイナスドライバーなどでキャップをはずし、必ず輸送金具を取り付けてください。



5. 据付場所の確認

警告



浴室などの湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
(感電・漏電火災の原因)

■ 据え付け前に排水口の掃除をする

(排水口に糸くずや汚れがたまっていると、臭いや水もれ、排水できない原因)

■ 次のような場所には、設置しない

- 直射日光のあたる場所
(プラスチック部品の変色・変形の原因)
- 冬期に凍結のおそれのある場所
- 平らでない床・弱い床・タイルなどのすべりやすい床の上
振動や騒音が大きくなります。床が弱いときは、別売の補強板を設置してください。
床全体が弱いときはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ブロック・レンガ・角材やキャスター付きの台の上などの不安定な場所
(振動や騒音、本体が倒れる原因)
- 高い置台の上
(振動による本体の落下により、
けが、本体・壁・床などの破損、水もれなどの原因)

■ テレビ・ラジオなどの家電製品に近付けない (画像の乱れ・雑音の原因)

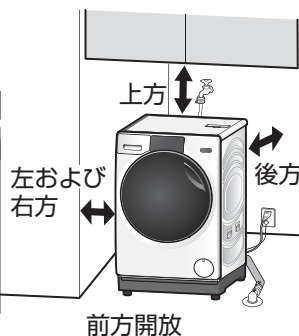
■ 包装用台座は据え付け台として使わない (本体故障の原因)

■ 本体は前方を開放して、 壁から下表の寸法以上離すこと

- 異常な振動や音を防ぐためです。

消防法 基準適合 組込形

場所	離隔距離(cm)
上方	20
左方	※1 1
右方	※1 1
後方	※2 2
下方	0



※1 排水口側は、壁から 8cm 以上
※2 天板からの距離

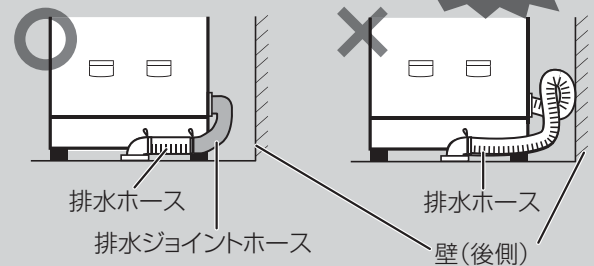
排水ジョイントホース (付属品)



排水ホースの接続には、浮き上がり防止のため排水ジョイントホースを使用してください。排水ホースが浮き上がると、**排水フィルターをお手入れするとき、多量の水もれのおそれがあります。**

排水ジョイントホースを使用すると、排水ホースを正しく処置できます。

多量の水もれの原因



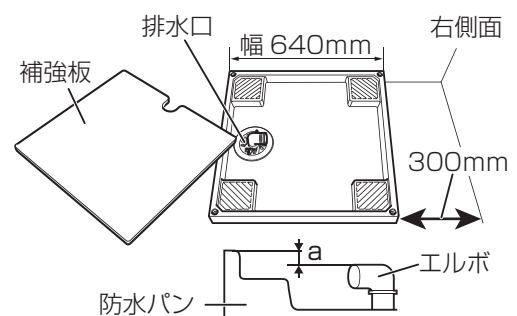
必要に応じて別売品などを準備してください。

● 床が弱いとき

補強板(別売) 別売 → P11

防水パンの大きさが幅 640mm のときや防水パンがないときに使用できます。

※据え付けかたは別売部品の据付説明書に従ってください。



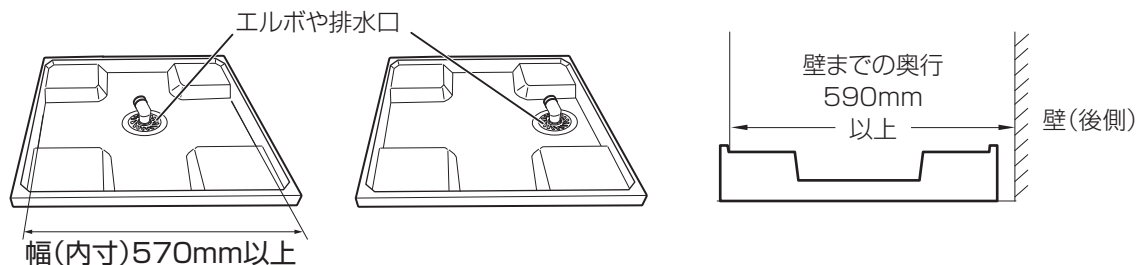
【設置条件】

- ・ 防水パンの縁の高さが水平であること。
- ・ 防水パンとエルボの高さの差 (a) が 10mm 以上あること。
- ・ 防水パンの右側面に 300mm 以上の隙間があること。

設置可能な防水パン

- 防水パンは床に必ず固定して使用してください。
(製品移動や異常音の原因)

四隅盛り上がりタイプ



壁までの奥行	590 ～ 600 mm未満	600 mm以上
排水ホースの処理方法	➡P6	➡P6 ～ 7
排水ジョイントホース	必要	推奨

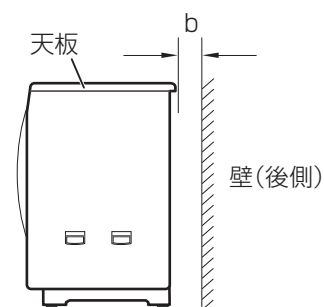
長方形フラットタイプ



幅 (内寸)	590 mm	590 mm以上	590 mm以上
奥行 (内寸)	540 ～ 570 mm	570 mm以上	570 mm以上
壁までの奥行	590 mm以上	590 ～ 600 mm未満	600 mm以上
排水口の位置	本体下	本体下・横	本体下・横
排水ホースの処理方法	➡P6	➡P6	➡P6 ～ 7
排水ジョイントホース	必要	必要	推奨

防水パンがない場合

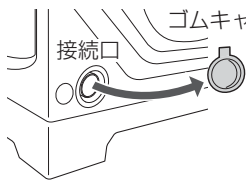
天板から壁までの距離(b)	5cm 未満	5cm 以上
排水口の位置	本体下・横	本体下・横
排水ホースの処理方法	➡P6	➡P6 ～ 7
排水ジョイントホース	必要	推奨



6. 排水ホースの処理

排水ホースを取り付ける前に

排水ホース接続口のゴムキャップをはずす

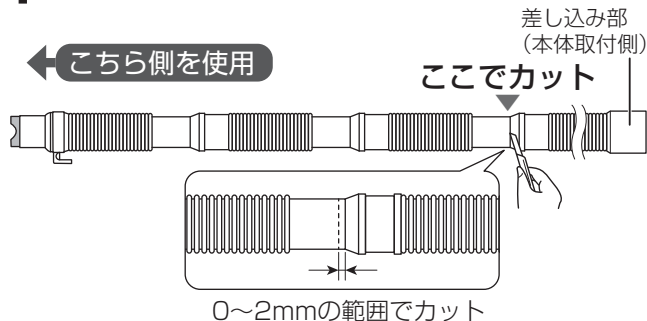


- 接続口から水が出ることがあるため、タオルなどを用意してください。工場での検査時の残水で故障や不良ではありません。

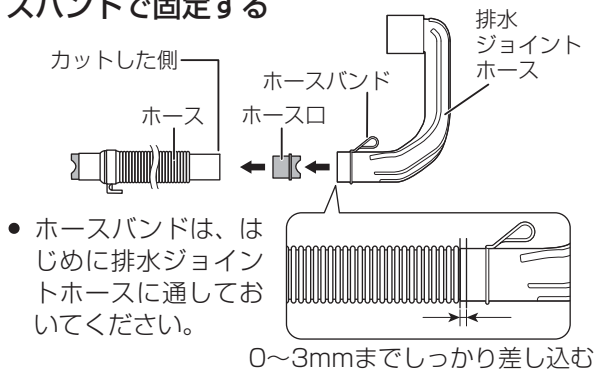
排水ジョイントホースを使用して接続する

排水ホースの接続は排水ジョイントホースを使用してください。

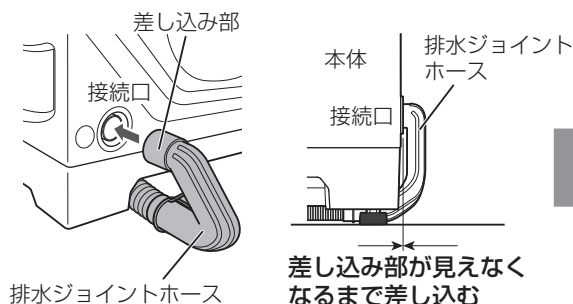
1 排水ホースの本体取付側をカットする



2 排水ホースのカットした側にホース口をはめ、排水ジョイントホースに差し込んでホースバンドで固定する

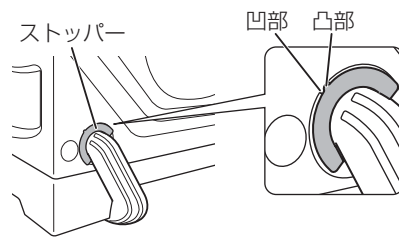


3 排水ジョイントホースを接続口にしっかり差し込む



4 ストッパーを本体に取り付ける

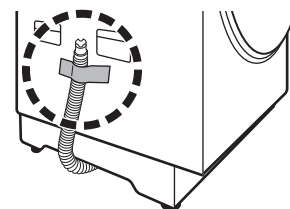
ストッパーの凸部を、接続口の凹部位置に合わせて取り付けてください。



5 排水口が本体左横の場合

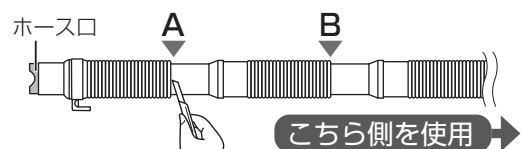
下図のように、排水ホースを本体に仮止め後据え付けを行う

- 本体で排水ホースを踏んだり、はさみ込んだりしないようにするためです。
(排水できない原因)



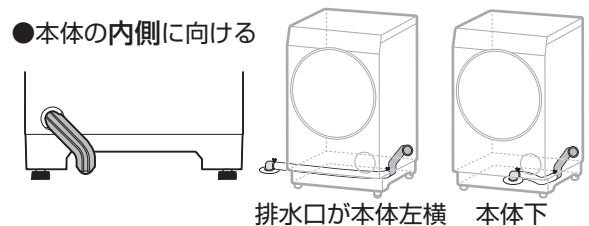
排水口が本体右横の場合

排水ホースが長い場合はA・B位置でカットして、先端にホース口をはめ直す



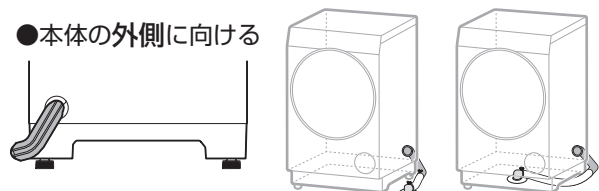
排水ジョイントホースの取り付けの向き

● 本体の内側に向ける



排水口が本体左横 本体下

● 本体の外側に向ける

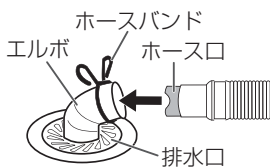


排水口が本体右横 本体下

6 排水ホースをエルボつき排水口に接続する

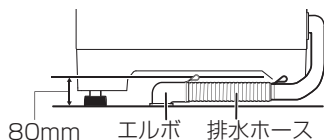
排水ホース先端部をエルボにしっかり差し込み、別売のホースバンドで確実に固定してください。

別売→P11



- ホース口は、はずさないでください。

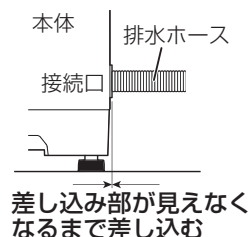
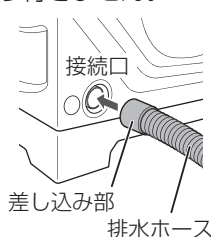
排水ホースは、設置面から 80mm より高くならないようにしてください。



排水ジョイントホースを使用しない場合

1 排水ホースを接続口にしっかり差し込む

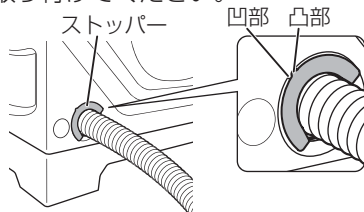
差し込みが不十分な場合、手順2でストッパーが取り付けられません。



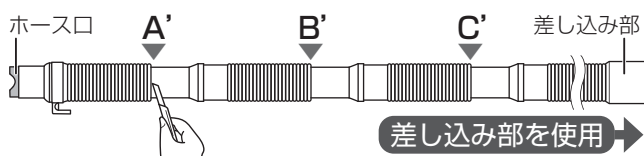
差し込み部が見えなくなるまで差し込む

2 ストッパーを本体に取り付ける

ストッパーの凸部を、接続口の凹部位置に合わせて取り付けてください。



3 排水ホースが長い場合はA'～C'位置でカットして、先端にホース口をはめ直す



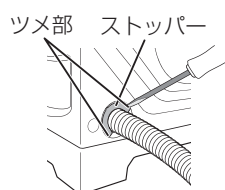
4 排水ホースをエルボつき排水口に接続する

「排水ジョイントホースを使用して接続する」

→手順6

ストッパーのはずしかた

排水ホースを付け替える場合は、マイナスドライバーなどをストッパーのツメ部に差し込んで、ツメ(2カ所)をはずし、ストッパーをはずしてください。



排水ジョイントホースを使用する／使用しない場合 共通

排水ホースの処置

- 排水ホースがよじれたり、つぶれたり、浮き上がったりしないように処置してください。



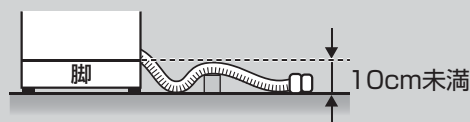
ホースが破れ水もれするおそれ



排水フィルターを抜いたときに多量の水が出るおそれ

- 敷居などで排水ホースが 10cm より高くならないようにしてください。

(排水できない・排水フィルターを抜いたときに多量の水が出るおそれ)



ご注意

- 排水口が詰まっても排水できない原因になります。

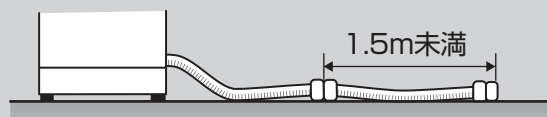
排水ホースを延長する場合

別売の排水ホース補修キットをお買い求めください。

別売→P11

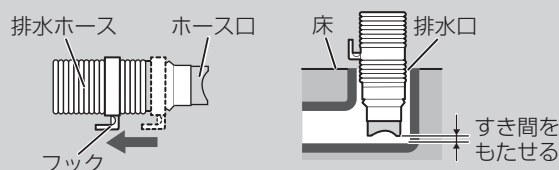
平らな場所で、1.5m まで延長できます。

※取り付け方法は、別売部品の説明書に従ってください。



排水口に排水ホースを差し込む場合

ホース口は、排水ホース先端がふさがれて排水が悪くならないようにすき間をもたせるものです。必ず取り付けてご使用ください。



排水ホースは、排水時の水の力や振動などで動く場合があるため、排水口にしっかり差し込み抜けないことを確認してください。

7. 給水ホース

- 給水ホース・マジックつぎ手は、付属品または当社専用の新品のものを使用してください。
- 水栓にはマジックつぎ手が見えるものと見えないものがありますので、ご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、マジックつぎ手や給水口から水もれがないか確認してください。

step1

水栓形状を確認する

横水栓	角口水栓	万能ホーム水栓	自在水栓	カップリング横水栓
	 16mm以上必要です	 取りはずす	 ここから水もれのおそれがあります	 取りはずす
付属の給水ホースからマジックつぎ手ははずし(「マジックつぎ手を付属のホースからはずす」参照)、取り付けてください。	 → step2	別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。 別売→P11	別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。 別売→P11	別売の給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けてください。 別売→P11
オートストッパー水栓(洗濯機用)		 ①アダプター ②本体 ③給水ジョイント部 パッキン 詳しくは、CB-J6の説明書をお読みください。		
壁埋め込み以外	壁埋め込みタイプ	①②③を使用	①③を使用	③を使用
 ツバ オートストッパー付	 ロックレバー引っかけ部	 給水栓ジョイント(CB-J6)を取り付けた場合は、付属のマジックつぎ手を使用せず、直接給水ホースを取り付けてください。 → step3		
給水ホースのロックレバーが引っかからない、しっかりと差し込めない、ぐらつくなどの場合は水栓メーカーにご確認ください。				
直接、給水ホースを取り付けてください。 付属のマジックつぎ手は使用しません。→ step3				

給水ホースを取り付ける前に

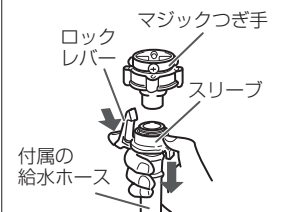
給水栓ジョイント部

汚れ、カルキ、さびなど
(水もれの原因)

必ず汚れなどをぬれた布などで拭き取ってください。汚れが取れなかったり、さびや傷がある場合は、水栓を取り替えてください。

マジックつぎ手を付属のホースからはずす

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて、付属の給水ホースからマジックつぎ手ははずす



本書に記載している別売部品以外は、日本電機工業会規格 JEM1206 に準拠している水栓(オートストッパー付、ツバあり)をお使いください。水栓メーカーの洗濯機用水栓でも適合しないものがあり、水もれのおそれがあります(保証の対象外)。特にツバのないものは使用できません。ご不明な場合は、水栓メーカーにお問い合わせください。

step2

マジックつぎ手を取り付ける

1 ネジ(4本)をゆるめ、マジックつぎ手のゴムパッキンと水栓の先端を垂直に押し当てる

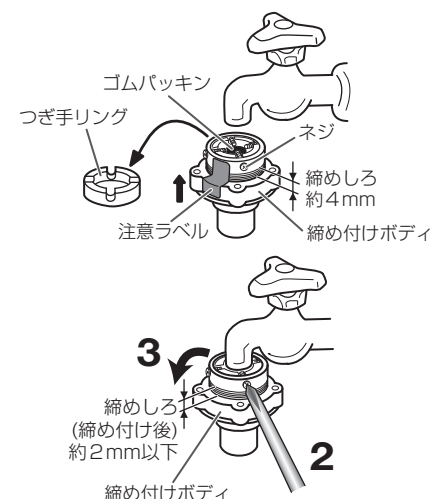
- 水栓の径が大きいときは、つぎ手リングをはずしてください。
- 注意ラベルは締め付けボディをゆるめた状態で貼ってあります。水栓にマジックつぎ手をネジで締め付けるまでは、はがさないでください。

2 水栓の先端がマジックつぎ手の中心になるようにネジを均等にしっかり締め付ける

- 壁側になるネジは前もって調節しておくとう便利です。

3 注意ラベルをはがし、締め付けボディを矢印方向へ回して、締めしろが約2mm以下になるまで強く締め付ける

- 強く締め付けしないと水もれするおそれがあります。



ご注意

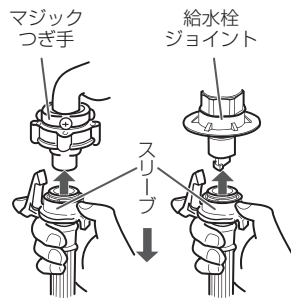
- 取り付けかた・転居の際の取り替え・長期間の使用でゆれが生じたなどで、水もれする場合
1 図のように締めしろを約4mmにゆめしてから、取り付け直してください。
- ゴムパッキンに蛇口の形が付いていたり、劣化している場合
マジックつぎ手を取り替えてください。転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。

step3

給水ホースを取り付ける

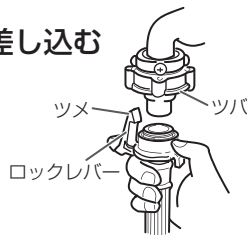
水栓側

- 1 スリーブを引き下げたままでマジックつぎ手（または給水栓ジョイント / オートストッパー水栓）に差し込む



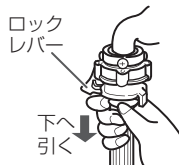
- 2 スリーブを離し、「パチン」と音がするまで差し込む

- ロックレバーのツメをツバに引っかけてください。（はずれると水もれの原因）



- 3 給水ホースを下へ引き、完全に取り付けができているか確認する

- ロックレバーと本体が接触しない位置で取り付けてください。（はずれると水もれの原因）



本体側

- 袋ナット内のパッキンに異物が付着していたり、パッキンが斜めに取り付けられていないことを確認してください。（水もれの原因）

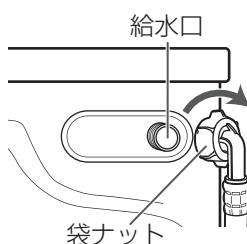


- 1 袋ナットの先を給水口にあてがう

- 2 袋ナットを傾きのないように確実に締め付ける

（傾いて取り付けると水もれの原因）

- 最後にもう一度、袋ナット・ホースの両方を持ち、90～180度ほど増し締めしてください。



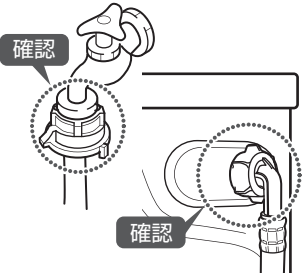
- ゆるみ・ぐらつき・傾きがないか、確認してください。
- 今までお使いのマジックつぎ手があっても、必ず新品と取り替えてください。

お願い

- 水栓の形状が合わないときや取り付けができないとき、水もれが発生するときはお買い上げの販売店または水道工事店にご相談ください。

ご注意

- 転居などで取り付け直したときは、特にご注意ください。
- 給水ホースを接続後、水栓を開き、給水ホースの接続部から水もれがないか確認してください。



給水ホースをはずす場合

水栓を閉じるだけでは水が飛び散りますので、次の手順を必ずお守りください。

- 1 水栓を閉じる

- 2 電源を入れる

- 3 「洗濯」を選び、「スピード」を選ぶ

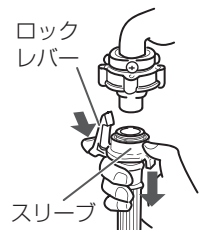
- 4 スタートし、

約10秒後に 電源を切る

- 給水ホース内の水を抜き、水圧を下げて水の飛び散りを防ぐためです。

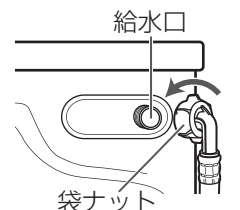
- 5 水栓側

ロックレバーを押し、スリーブを引き下げて給水ホースをはずし、給水ホース内の残水をバケツなどで受ける



- 6 本体側

袋ナットをゆるめてはずす



給水ホースを延長する場合

お買い上げの販売店にご相談のうえ、別売の給水延長ホースをお買い求めください。別売➡P11

8. 水平の確認と調整

設置場所・設置面の状態により、本体が水平に置けない場合があります。以下の手順に従って、ガタつきをなくし、水平設置を確認してください。

ご注意

- 水平に設置できていないと本体の移動・異常振動・騒音・故障の原因になります。必ず水平になるよう調整してください。

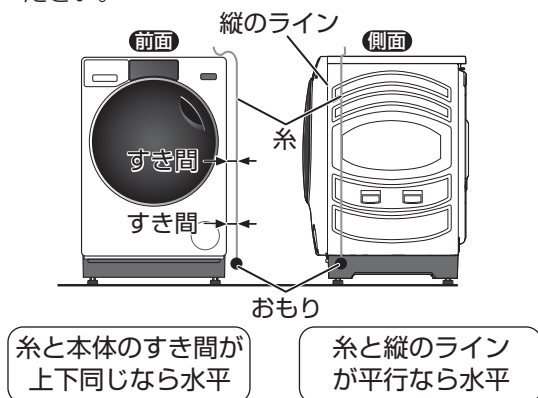
1 ロックナットを回してゆるめた後、ガタつきがないように調整足(前面2カ所)の高さを調整する

- 本体を傾け、前面を浮かして調整してください。

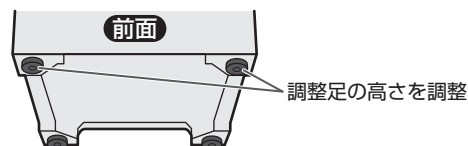


2 水準器で水平度を確認する

- 水準器がない場合は、おもりを付けた糸を図のように下げ、前面と側面の水平度を確認してください。



3 水平度に応じ、前面2カ所の調整足で調整する



4 本体上端の対角(右前・左後および左前・右後)を押さえて、ガタつきがないか確認する



5 調整が終わったら、ロックナットを回してしっかり締め付ける

- ロックナットはゆるまないように必ず締め付けてください。(ゆるんでいると本体の移動・異常振動の原因)



9. アース・電源

アース工事は有料です

警告



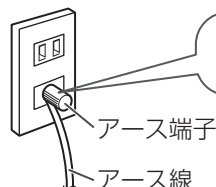
アースを確実に取り付ける (故障・漏電による感電の原因)

- 漏電ブレーカーの取り付けをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- アースの付けはすしは、電源プラグをコンセントから必ず抜いて行ってください。
- 設置場所の変更や転居の際にも、アースの取り付けを必ず行ってください。



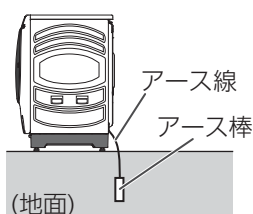
定格15A以上・交流100Vの コンセントを単独で使う 電源プラグは根元まで確実に差し込む (火災・感電の原因)

コンセントにアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に接続する

コンセントにアース端子がない場合

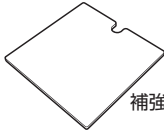
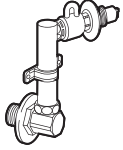
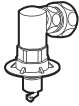
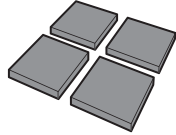
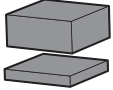


法令により電気工事士によるD種接地工事が必要です。お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

お願い

- ガス管・電話線や避雷針・水道管には接続しないでください。(法令などで禁止されています)

10. 別売部品

補強板 (HW-K630) 床が弱いときに 幅630×奥行630×高さ21mm 部品コード 0530073036 希望小売価格 11,000円(税込) ※幅640mmの防水パンに対応  補強板 固定金具 両面テープ ネジ	壁ピタ水栓 (CB-L6) 水もれ防止機能付き 部品コード 301 2 3450 00100 希望小売価格 7,150円(税込) ※その他、分岐水栓を数種準備しています。 
排水ホース補修キット 排水ホースを延長するときに 長さ 1.34m 部品コード S114755 希望小売価格 1,870円(税込)  排水ホース ホースつぎ手 ホースバンド ホース口 接着剤	L型給水ホース (SWHOSE-L1) 部品コード 301 0 3275 29800 希望小売価格 3,080円(税込) 
ホースバンド (エルボ固定用) 部品コード 301 2 3341 19900 希望小売価格 220円(税込) 	給水延長ホース  【1m】301 0 3275 24900 1,870円(税込) 【2m】301 0 3275 25000 2,420円(税込) 【3m】301 0 3275 25100 2,860円(税込)
給水栓ジョイント (CB-J6) 水もれ防止機能付き 部品コード 301 0 3470 25000 希望小売価格 2,640円(税込) ※水栓形状によっては、取り付けできないものがあります。 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。 	防振ゴムセット (4個入り) 床への振動や騒音を軽減する 幅70×奥行70×高さ10mm 部品コード 0530069349 希望小売価格 2,640円(税込)  吸振機能付 高さ調整脚 (各4個入り) 洗濯機の高さを調整したいときに 幅75×奥行75mm 【高さ 30mm】HW-KYAKU-30 10,450円(税込) 【高さ 10mm】HW-KYAKU-10 4,400円(税込) ※高さ10mmは、単体では使えません。必ず高さ30mmと組み合わせてご使用ください。 

11. 試運転

- 設置後は試運転を行い、水もれ・給排水の不具合・異常な音・本体のガタつき・揺れの少ないことを確認してください。
- ドラム内には、**何も入れない**で次の手順で試運転をしてください。

- 1** 水栓を開き、 電源を入れる(長押し)
- 2**  「洗乾切替」 「洗濯」に切り替え、「スピード」を選ぶ
- 3** 洗い「5分」・すすぎ「0回」・脱水「3分」を設定する
- 4**  スタートする

- 5分間の洗いの間に、水もれがないことを確認する。
- 3分間の脱水の間に、異常音・振動がないことを確認する。
- 運転終了までにその他エラーなどの異常がないことを確認する。

ブザーが鳴ったら、運転終了

- 異常な音、ガタつき、揺れは出ていませんか。設置状態にガタつきはありませんか。

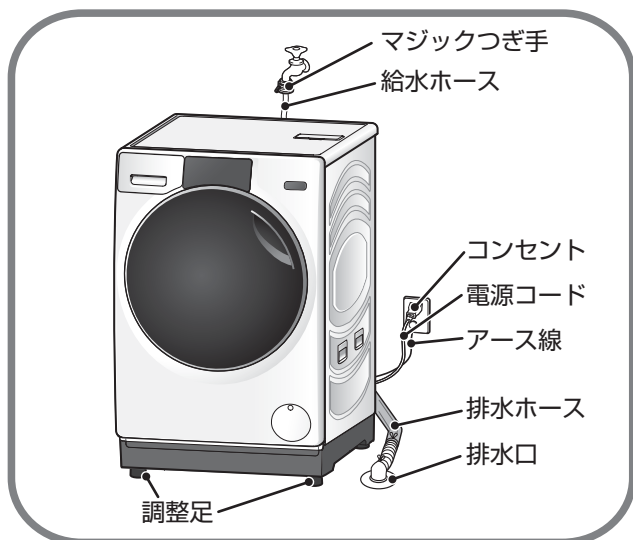
- 水もれはありませんか。給水ホース・排水ホースの接続部から水がにじんでいませんか。

次の異常時には、エラー表示とブザーでお知らせします。

- 【E11】 ● 給水ホースが接続され、水栓が開いていますか。
- 【E12】 ● 排水ホースの確認
● 途中で高く持ち上がっていませんか。
● 排水口（フィルターやトラップ部）が糸くずなどで詰まったり、ふさがれたりしていませんか。

エラーの原因を取り除き、スタートすると運転を継続します。

12. チェックシート



設置が完了しましたら、以下の項目について必ずチェック ☒ を行ってください。

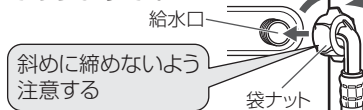
設置日	年	月	日	据え付け者
-----	---	---	---	-------

3 給水ホース

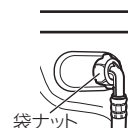
☐ チェック 給水ホース・マジックつぎ手は新品を使用しましたか。

☐ チェック マジックつぎ手にゆるみ・ぐらつき・傾きがありませんか。

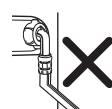
☐ チェック 給水ホースの袋ナットは斜めにならないように締めてありますか。



☐ チェック 袋ナットが強く締まっていますか。最後にもう一度、袋ナット・ホースの両方を持ち、90~180度ほど増し締めします。



☐ チェック 給水ホースにねじれや折れ曲がりはありませんか。(破断するおそれ)



☐ チェック 給水ホースの接続に余裕がありますか。付属の給水ホースが短い場合は、別売の給水延長ホースを取り付けてください。別売 → P11



☐ チェック 水栓側および本体側の給水ホース接続部から水もれしていませんか。

4 アース・電源

☐ チェック アースはしっかり接続されていますか。

☐ チェック 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使っていますか。

☐ チェック 電源コードを製品本体で踏みつけたり、はさみ込んだりしていませんか。

☐ チェック 電源コード・アース線が本体に接触していませんか。

5 試運転

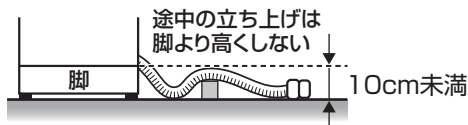
☐ チェック 試運転で、異常音や水もれはありませんか。正常に排水されていますか。

1 排水ホース

☐ チェック 排水できますか。排水口に糸くず・ゴミなどが詰まっていると排水できません。

☐ チェック 排水ホースの先端がふさがれていませんか。

☐ チェック 排水ホースが途中で 10cm 以上立ち上がっていますか。



☐ チェック 排水ホースによじれ・つぶれ・浮き上がり・こすれはありませんか。(排水できない・乾燥が弱い・水もれする原因)

☐ チェック 延長ホースの長さは1.5m以下になっていますか。

☐ チェック 排水ホースや接続部などから水もれしていませんか。

2 本体

☐ チェック 本体背面にある輸送金具(4本)を取りはずしましたか。

☐ チェック 本体を水平に設置しましたか。

☐ チェック 本体上端の対角(右前・左後 および 左前・右後)を押さえたとき、ガタつきはありませんか。(ガタつきは、脱水時の振動・騒音・故障の原因)

☐ チェック 調整足はしっかり締まっていますか。



アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号